

2024 年度「基町写真展 2024」の会場設営体験と地域の魅力づくり レポート

【担当教員】

学部・学科・専攻	職 名	氏 名
代表者：芸術学部デザイン工芸学科視覚造形分野	准教授	中村圭

【プロジェクトの概要】

本プロジェクトは、「基町写真展 2024」の準備作業にデザイン系学生が参加し、展示設営や資料制作を体験することで、基町地区の歴史的背景に触れつつ、「写真展示」という地域発信の手法について実践的に学ぶことを目的としている。通常授業では、不特定多数の人に見てもらうための展示設営までは行わないが、このプロジェクトでは、子供や高齢者などが来場することも踏まえ、実際の展示会場ではどのようなことに注意すべきかを、実践的に学修させる意図がある。また、実際の会場には、様々な展示に影響のある外部要因があることを体験し、それらの課題に対応しながら、バランスの良い展示作業を進める方法を模索させた。

【プロジェクトでの成果等】

展示台の制作にあたり、初めて電動工具を扱う学生も多かったが、複数の展示台を組み立てる中で精度も向上した。結果として、予定通りすべての作業を完了することができた。また、展示台の配置が来場者の動線に直接影響を与え、展示体験の質が変化することを、学生が実地で学ぶ機会となった。学内での準備と学外での実作業を組み合わせることで、学生の理解と技術の習熟が確実に深まっていることが確認できた。

さらに、準備作業の過程では、地域住民との自然な交流も見られ、地域と学生との関係構築にもつながった。「基町写真展 2024」（2024.6/1～6/30）には、延べ 1,138 名の来場があった。



電動工具を使った展示台組立体験



展示会場設営体験



完成した展示台の確認



会期中、基町小児童の見学会も行われた。

参考情報：今回プロジェクトの成果を踏まえ、2024年8月、ひろしまスタジアムパーク開業に合わせて、当該学生の写真作品展「写真で見る基町の夏」を企画・開催した（8/1-8/4）。来場者延べ387名。



会場設営風景



展示風景 1



展示風景 2